

災害(さいがい)の 日本語(にほんご) リスト

| | | |
|-------|------------|---|
| 注意報 | ちゅういほう | 災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。「大雨注意報(おおあめちゅういほう)」など。 |
| 警報 | けいほう | 特(とく)に 大(おお)きい 災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。「大雨警報(おおあめけいほう)」「津波警報(つなみけいほう)」など |
| 特別警報 | とくべつけいほう | 「警報(けいほう)」より ずっと 大(おお)きい 災害(さいがい)が 起(お)きるかもしれないときの お知(し)らせ。情報(じょうほう)を よく 聞(き)いて、命(いのち)を 守(まも)って ください。 |
| 暴風雨 | ぼうふうう | とても 強(つよ)い 風(かぜ)と 雨(あめ) |
| 暴風域 | ぼうふういき | 台風(たいふう)で とても 強(つよ)い 風(かぜ)が 吹(ふ)く 場所(ばしょ)。 |
| 風速 | ふうそく | 風(かぜ)の 吹(ふ)く 速(はや)さ。 |
| 余震 | よしん | 大(おお)きい 地震(じしん)の あとの 地震(じしん)。何日間(なんにちかん)も 続(つづ)く かもしれませぬ。 |
| 津波 | つなみ | 地震(じしん)のあとの とても 高(たか)い 波(なみ)。 |
| 避難 | ひなん | 逃(に)げること |
| 避難所 | ひなんじょ | 大(おお)きい 災害(さいがい)の とき、逃(に)げる 場所(ばしょ)。安全(あんぜん)な ところ。家(いえ)が 危(あぶ)ないとき、しばらく 避難所(ひなんじょ)で 生活(せいかつ)します。 |
| 避難場所 | ひなんばしょ | 大(おお)きい 災害(さいがい)の とき、少(すこ)しの 間(あいだ) 逃(に)げる 場所(ばしょ) |
| 避難勧告 | ひなんかんこく | 「災害(さいがい)が 大(おお)きくて、とても 危(あぶ)ないので、逃(に)げて ください」という お知(し)らせ。市役所(しやくしょ)などが 出(だ)します。 |
| 避難指示 | ひなんしじ | 「避難勧告(ひなんかんこく)より 危(あぶ)ないので、逃(に)げて ください」という お知(し)らせ。市役所(しやくしょ)などが 出(だ)します。 |
| 高潮 | たかしお | 台風(たいふう)などのせいで、海(うみ)の 水(みず)が とても 高(たか)くなります。 |
| 洪水 | こうずい | 雨(あめ)が たくさん 降(ふ)ります。水(みず)が 川(かわ)を 越(こ)えて、道(みち)にも たくさん 来(き)ます。 |
| 浸水 | しんすい | 家(いえ)の 中(なか)に 水(みず)が 入(はい)ります。 |
| 崖くずれ | がけくずれ | 山(やま)から、土(つち)や 大(おお)きい石(いし)が たくさん 落(お)ちます。 |
| 警戒 | けいかい | とても 気(き)を つけます。 |
| 倒壊 | とうかい | 家(いえ)や ビルが 壊(こわ)れます。 |
| 通行止め | つうこうどめ | 危(あぶ)ないので、通(とお)れませぬ。 |
| 被災者 | ひさいしゃ | 災害(さいがい)で けがをした 人(ひと)や、家(いえ)が なくなった 人(ひと) |
| 安否確認 | あんびかくにん | 家族(かぞく)や 友(とも)だちが だいじょうぶか 調(しら)べます。 |
| 行方不明 | ゆくえふめい | どこにいるか、わかりませぬ |
| 非常食 | ひじょうしょく | 災害(さいがい)の ときの ために、準備(じゅんび)しておく 食べ物(たべもの)や 飲み物(のみもの) |
| 炊き出し | たきだし | 災害(さいがい)の ときに あたたかい ごはんを 配(くば)ります |
| 停電 | ていでん | 電気(でんき)が とまります |
| 断水 | だんすい | 水(みず)が 出(で)ませぬ |
| り災証明書 | りさいしょうめいしょ | 災害(さいがい)で 家(いえ)が どれくらい 壊(こわ)れたか 証明(しょうめい)する もの |
| 仮設住宅 | かせつじゅうたく | 災害(さいがい)で 家(いえ)が なくなった 人(ひと)が 住(す)む、簡単(かんたん)な 家(いえ) |